



# 坂祝町 子育て環境整備 基本構想

平成 29 年 3 月

坂祝町

## 坂祝町子育て環境整備 基本構想策定によせて



はじめに、坂祝町子育て環境整備基本構想の策定に参画くださいました皆様に、お礼申し上げます。アンケート調査に答えていただくだけでなく、意見も多く記入していただきました。また、ワークショップや、後半の「つどい場ツクリバ」にも、赤ちゃんを抱えて参加して、議論の輪に加わり、意見を出してくださいました。そのようなご意見が次第に取りまとめられ、子育て環境整備基本構想ができあがったことに心から感謝申し上げます。

日本全体で急速な少子高齢化が進む中、高齢化に対しては、サンライフを中心として、ゴールドプランや新ゴールドプランに対応すべく各種事業を展開してまいりました。少子化に対しては、各事業展開を進めつつありましたが、拠点がなく、その時々之間借りしながらの事業でありました。坂祝町の未来にとって、子育て支援は必要不可欠であり、この構想による事業展開が、有効な手立てであることは、町民の皆さんにもきっとご理解いただけることでしょう。

こうして構想が完成しましたので、この構想が現実のものとなるよう、進めてまいりたいと思います。皆様のさらなるご協力とご支援をよろしくお願いたします。

平成 29 年 3 月 吉日

坂祝町長 南山 宗之

# 坂祝町子育て環境整備基本構想

## もくじ

### 第1章 これまで

1. 子育てに関するアンケート調査（H25）から.....	1
2. 子育て環境整備ワークショップ（H27）から.....	5
(1) 第1回ワークショップ「知る会」 .....	7
(2) 第2回ワークショップ「考える会」 .....	8
(3) 第3回ワークショップ「描く会」 .....	9
(4) 第4回ワークショップ「広げる会」 .....	11
3. 現場の声から.....	12
(1) 職員から見た施設の現状.....	12
(2) 職員が考えた拠点施設に必要な機能.....	13
(3) 今後の子育て支援を見据えて.....	14
4. 上位計画や関連調査から.....	15
(1) 坂祝町第6次総合計画.....	15
(2) 人口ビジョン及び総合戦略策定に向けたアンケート調査.....	16
(3) 坂祝町総合戦略.....	18

### 第2章 基本構想

1. 子育て支援ビジョン.....	20
2. 現状と課題の整理.....	21
(1) サービスの分散.....	21
(2) 安心して遊べる公園がない.....	21
(3) つくんど教室・アンブレラの不便さ.....	21
3. 拠点施設の基本理念.....	22
(1) 子どもを中心に多世代交流が図られる拠点.....	22

(2) 自然を生かした、自然が感じられる拠点.....	23
(3) だれもが気軽に集える、相談できる拠点.....	23
4. 拠点施設の必要機能.....	24
5. 施設計画における留意点.....	24
(1) 配置計画.....	24
(2) 平面計画.....	25
(3) 外観及び建物イメージ.....	26

### 第3章 施設計画の検討

1. 建設地.....	27
2. 施設計画イメージ (案) .....	28
(1) A案 平面計画イメージ (案) .....	28
(2) B案 平面計画イメージ (案) .....	29

### 第4章 ワークショップでは

1. 坂祝町子育て支援拠点について「お知恵をお貸してください会」 .....	30
2. 坂祝町子育て支援環境整備ワークショップ「つどい場ツクリバ」 .....	31
(1) ツクリバ①.....	31
(2) ツクリバ②.....	31
(3) ツクリバ③.....	32
(4) ツクリバ④.....	33
(5) ツクリバ⑤.....	34
(6) ツクリバ⑥.....	36
(7) ツクリバ⑦.....	37
3. 「つどい場ツクリバ」参加者名簿.....	38

## 第1章 これまで

坂祝町では、平成25年度から平成27年度までのあいだに、子育てに関するアンケート調査の実施、子育てカフェの実施、子育て環境整備事業キックオフフォーラムの開催、ワークショップ「コミュニティひろばをつくろう」の開催、コミュニティカフェ「珈茶（こーていー）」の立ち上げ・運営など多様な取り組みを行ってきました。

25

子育てに関するアンケート調査

26

子育てカフェ

26

子育て環境整備事業キックオフフォーラム

27

ワークショップ「コミュニティひろばをつくろう」

27

コミュニティカフェ「珈茶（こーていー）」開催

子育て環境整備基本構想の策定にあたり、これまでに集めた町民の思いやアイデアを整理しました。

### 1. 子育てに関するアンケート調査（H25）から

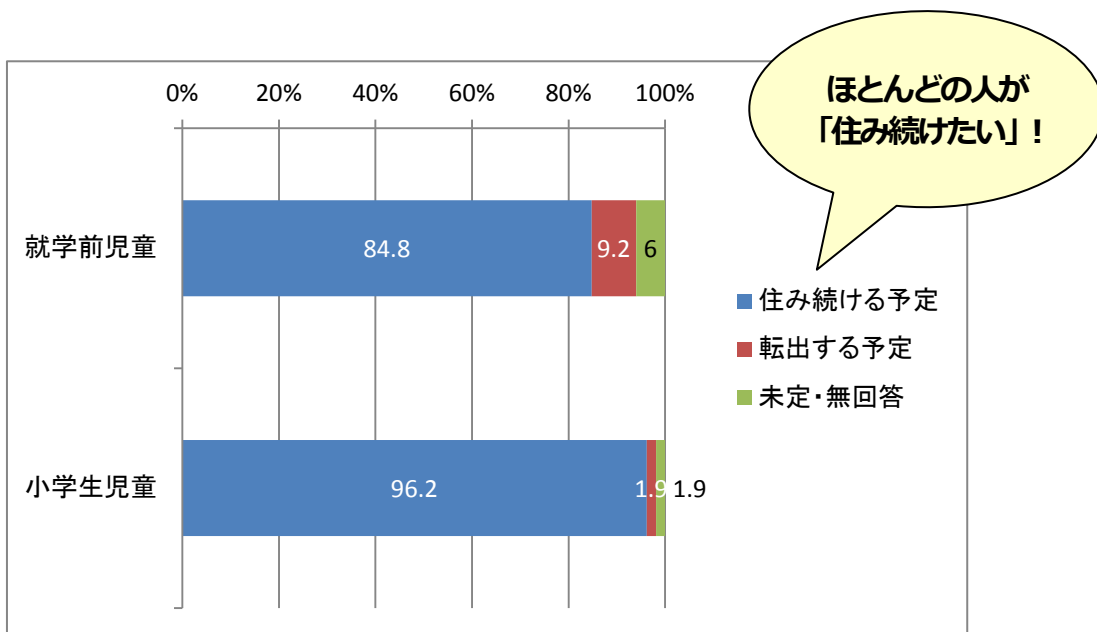
この調査は、坂祝町の子育てに対するサービスの充実を図ることを目的に、

- **就学前児童（0～5歳）を持つ親**（対象352人→回答184人）
- **小学校児童（小学校1～6年生）を持つ親**（対象314人→回答158人）

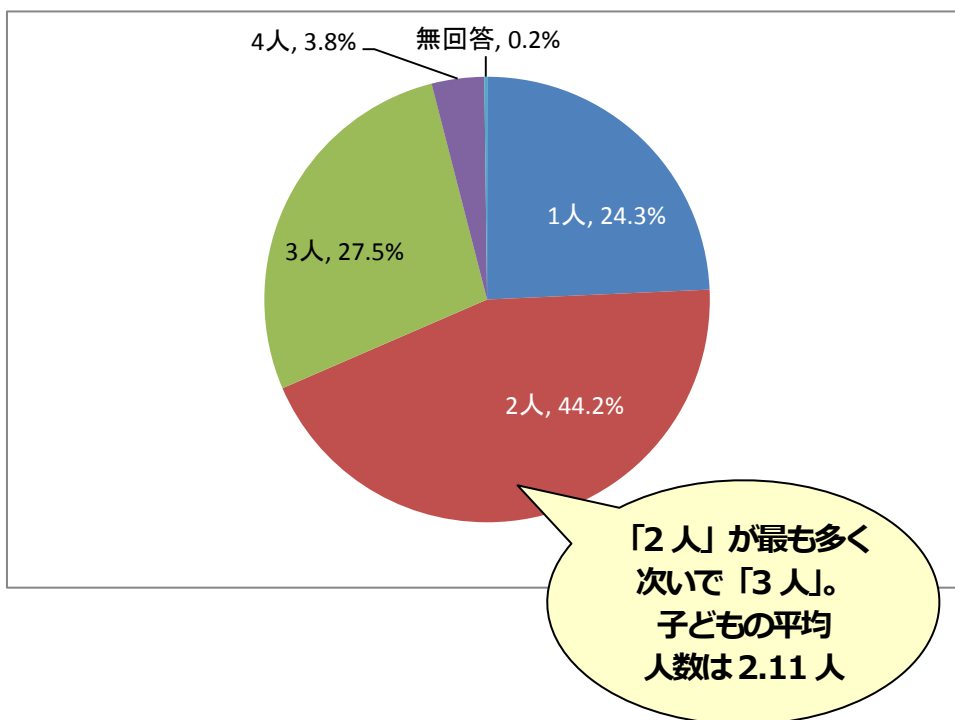
を対象に、保育等に対するニーズを把握する調査を平成25年10月に実施しました。

このアンケート調査から「見えてきたもの」を抜粋し、以下に示します。

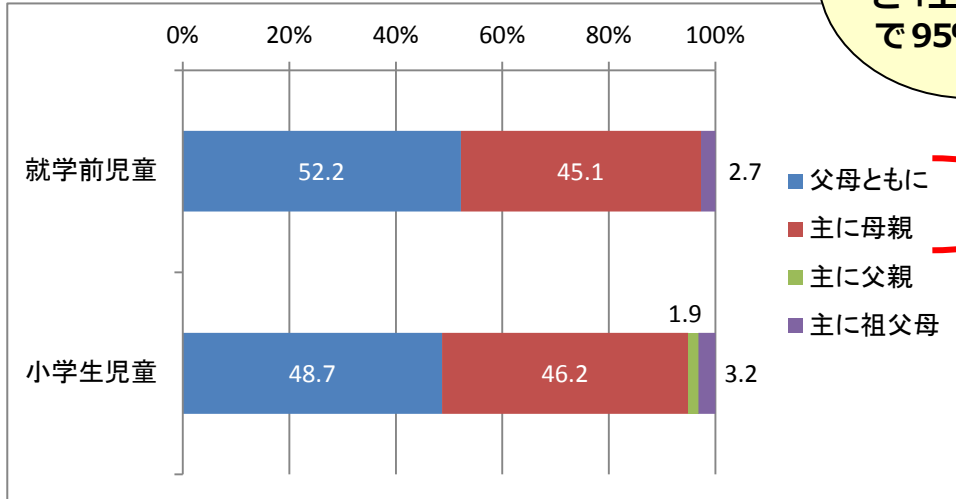
Q1 今後も坂祝町に住み続ける予定ですか？



Q2 お子さんのきょうだいは何人ですか？

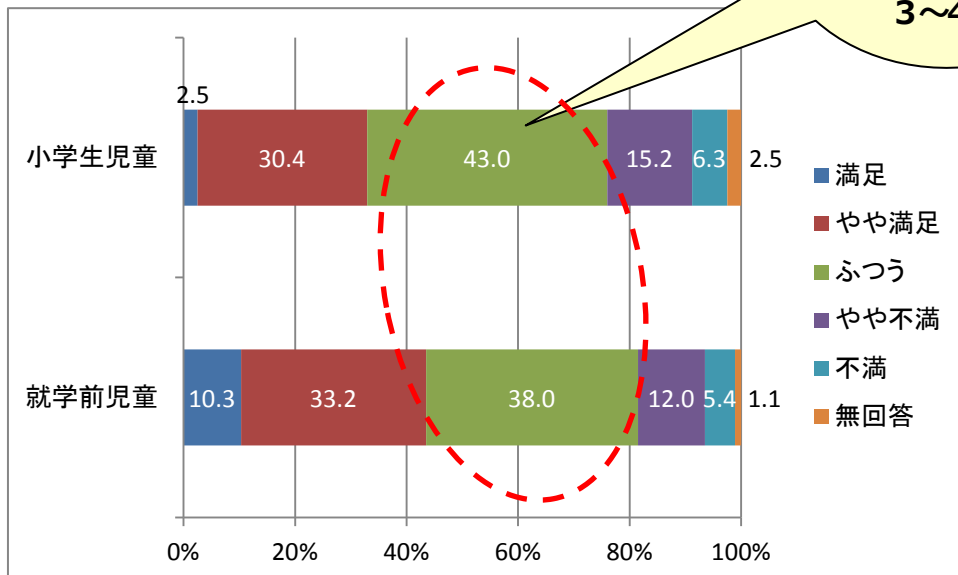


Q3 お子さんの子育てを主に行なっているのはどなたですか？



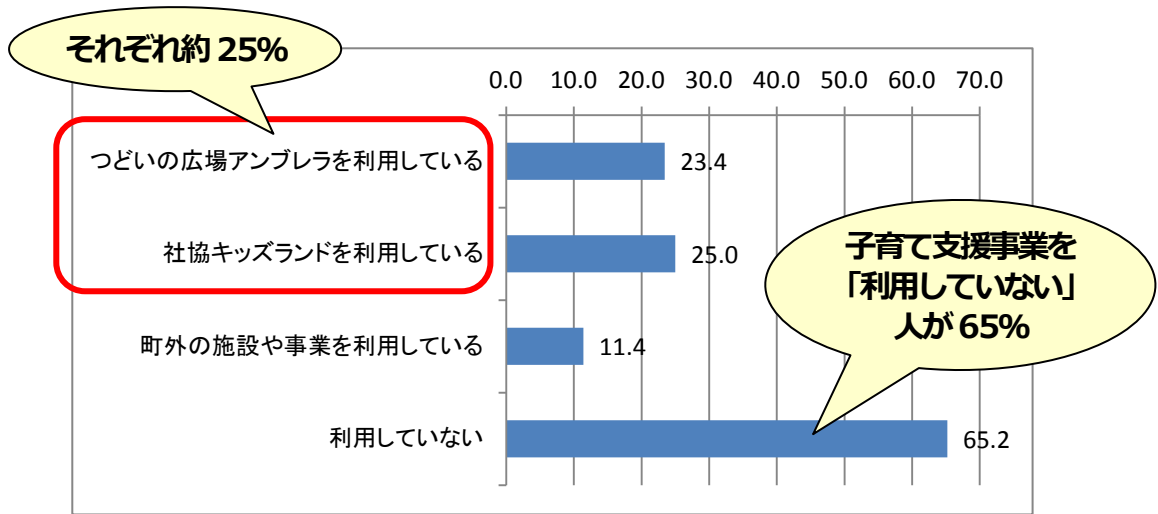
子育ては「父母ともに」と「主に母親」で95%以上！

Q4 坂祝町における子育ての環境や満足度はいかがですか？



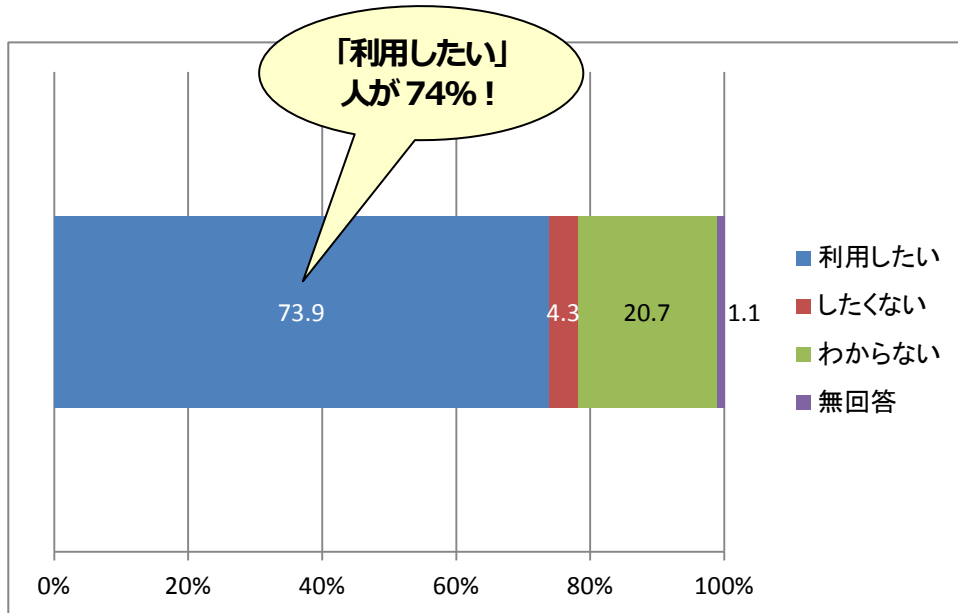
「ふつう」が最も多く約4割！「満足」と「やや満足」を合わせて3~4割

Q5 現在、どのような地域子育て支援事業を利用されていますか？（複数回答可）



※つどいの広場アンブレラは、お子さんと一緒に遊んだり、子育ての情報を収集したり、子育て仲間を作ったり、子育て中の悩みや不安など保育士の資格を持ったスタッフが相談等に応じます。就園前のお子さんと保護者の方、妊婦さんが集う広場です。

Q6 坂祝町の療育支援、発達相談事業（つくんこ教室）についてお伺いします。今後、お子さんの発達に心配なことが生じた場合、つくんこ教室を利用したいと思いますか？



※つくんこ教室は、発達に遅れのあるお子さんや障がいをお持ちのお子さんを正しく理解し、身近な地域で療育を行ない、お子さんの発達を助長する場です。また、保護者の相談に応じ、適切な養育環境づくりを支援します。



### Q7 子育て中の保護者にとって「ニーズ」の高いものは？

自由意見も含め、アンケート調査の中で意見が多かったものと、それに対する現在のこども課の考えをまとめると以下の通りです。

	子育て中の保護者の「ニーズ」が高いと思われるもの	現在のこども課の考え
①	一時預かり	→進めていきたい
②	公園	→施設+外公園（広大過ぎないもの） →大きな公園は、町全体で考えていく
③	子育て支援事業	→アンブレラの機能を充実させていく →つくんご教室も機能を充実させていく
④	兄弟で利用したい（小学生）	→幅広い年齢の子どもが利用できる施設に →子ども教室・クラブは別で考える

## 2. 子育て環境整備ワークショップ（H27）から

平成27年9月から11月まで、計4回の子育て環境整備ワークショップを開催しました。「コミュニティひろば（仮称）」をつくろう！と題し、子どもたちや地域の人々が集い、多世代の人々がふれあい、さまざまな交流ができる場所って？をテーマに話し合いました。

また、このワークショップを通じ、坂祝町の子育て環境の整備をよりよくしていくために、いっしょに考え行動していく「仲間づくり」＝「チーム SAKAHOGI（仮称）」の形成を目指しました。



## 第1回ワークショップ「知る会」

平成27年9月29日(火) 19:00~21:00

- あいさつ〜こども課プレゼンテーション
- アイスブレイク
- 自己紹介
  - ・ワークショップに期待すること
  - ・自分ができること・特技



## 第2回ワークショップ「考える会」

平成27年10月8日(木) 19:00~21:00

- あいさつ〜前回のふりかえり
- アイスブレイク
- グループワーク「こんな過ごし方できたらいいな！」
  - ・コミュニティひろばで、どんな風に過ごしたい?
  - ・もし、「あなた以外の人」だったら、どうだろう?
- 発表&共有



## 第3回ワークショップ「描く会」

平成27年10月22日(木) 19:00~21:00

- あいさつ〜前回のふりかえり
- アイスブレイク
- グループワーク「描いてみよう!ポスターづくり」
- 発表&共有



## 第4回ワークショップ「広げる会」

平成27年11月12日(木) 19:00~21:00

- あいさつ〜前回のふりかえり
- 町から「これまでの課題と見えてきたこと」
- バズトーク「夢をカタチにしていきたいためには?」
- 全体トーク「わたしたちがやれることって?」



## (1) 第1回ワークショップ「知る会」

「自己紹介」では、「わたしが実現したいこと・ワークショップに期待すること（緑）」  
「わたしができそうなこと・特技（茶）」を葉っぱカードに書き発表しました。

### 実現したいこと・期待すること

- 子どもが仲良くあそべる場所がほしい
- つくんこの充実と子どもたちが安心して暮らせる町づくり
- 子どもも大人も笑顔が増えるような場が作れるといいな
- 安心してスポーツができる場所、親子で利用できるカフェ、じっくり遊べる療育施設、まったりできる親子スペース
- 農業をやっています。関わっている子、おやつに関すること、発展させられないか
- 登下校の安全、障害のある方の支援
- 日本一の子どもタウンをつくる
- 異世代交流
- たくさん話せる場を作りたい
- 老人が経営する児童館、思いのままに、安心して、そこへ行ったらいつでも友達と遊べる
- こどもの居場所。多治見の「ちゃどかん」のような、関の「てらっこ」のようなお母さんの安心とこどもの自由な遊びを保障する場
- 小学生の居場所
- 子どもたちが、今日は楽しかったと充実した場をつくる
- 障害を持った子どもさんの支援拠点施設、子育て世代の意見が聞きたい
- 子どもが安心して暮らせる場所、人が集まる町
- 子どもが遊べる場所
- 安心・安全な場所づくり
- 子どもたちが安心して遊べる場所、公園ができればいいな
- 家内安全、健康第一、みんながいつも笑顔
- つくんこ教室の充実
- 子どもたちの笑顔があふれる町

### わたしができそうなこと・特技

- なんでも屋（裏方・縁の下の力持ち）
- 絵本の読み聞かせ
- お菓子作り
- 絵本の読み聞かせ、生け花、不動産について相談、人の話をきくこと
- 子どもと一緒に喜び合うこと
- 人と話をする事、楽しい事大好き
- 施設職員、QC、設備整、PC
- 子どものモチベーションをあげる
- 子どもたちと思いきり楽しんで遊べます
- 人の名前と顔、車のナンバーを覚えるのが早い
- 食べること、遊ぶこと
- 食べ歩き、そば打ち、芝生管理、鮎釣り
- 絵を描いたり、折り紙をしたり、料理上手
- PC (Mac)
- 絵本のよみきかせ
- 農業をやっている。野菜作りを伝えられる
- お菓子づくり
- お酒、ボランティア
- ハンドメイド など

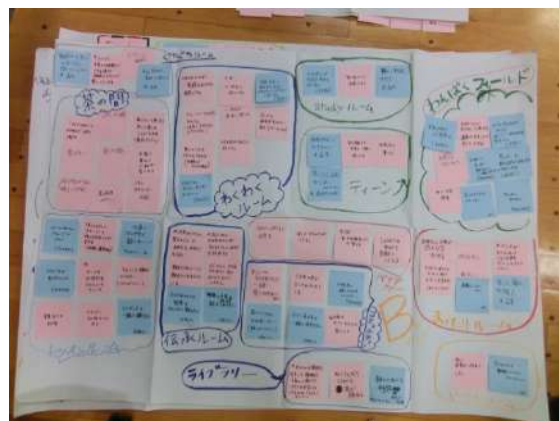


## (2) 第2回ワークショップ「考える会」

グループワークでは、「こんな過ごし方できたらいいな！」をテーマにコミュニティーひろばで自分だったらどんな風に過ごしたいか？また、他の人の立場だったらどうか？を考えました。



↑円の大きさは、意見の多さとほぼ比例しています



### (3) 第3回ワークショップ「描く会」

一人ひとりが持ち寄ってきた“夢のかけら”(「できたらいいね!こんなコミュニティーひろば」)をグループ内で共有し、イラストや文章をつけてグループで「1枚のポスター」をつくりあげました。



#### ●多世代交流 活力館

- ・今あるものを・・・
- ・農体験
- ・やすらぎトイレ
- ・ごはんもOK
- ・イベント
- ・理想設備
- ・温泉
- ・トランポリン
- ・いたわり

#### ●あなたが主役の町

- ・「あなた」のための居場所がある
- ・芝生広場でイベントができる大きなスペース
- ・図書スペースは、ドリンクを飲みながら読める、読み聞かせ、学習スペース
- ・体験型として農業体験ができる





## ●えがお 森 森

- ・モリモリ遊び  
モリモリ学び  
モリモリ食べて  
モリモリ生きよう
- ・赤ちゃんから  
おじいちゃんおばあちゃんまで  
みんなが集う  
つながる笑顔

## ●夢と魔法のまち さかほぎ 自然がいっぱい 開放感たっぷり

- ・開放的な庭
- ・ボルダリングがしたい
- ・復活ライン下り
- ・めいっぱい遊べる公園
- ・子どもからお年寄りまでみんな楽しめる
- ・バリアフリー玄関
- ・坂祝産地産地消を!
- ・充実した療育設備がほしい
- ・わんにゃんといっしょ



#### (4) 第4回ワークショップ「広げる会」

「夢をカタチにしていくためには? ~わたしたちがやれることって?」をテーマに、グループで意見を共有したあと、全員で輪になって車座トークをしました。

#### グループ意見共有～全員で車座トーク

##### ●周りに伝え、意見を聞く、巻き込んでいく

- ・ママ友、自分の周りの人たちに話を聞いてみる、身近なところから話を共有していこう!
- ・サンサンふれあい交流会、スポ少(スポーツ少年団)で話をして巻きこむ。
- ・オークワ(スーパー)を活用。チラシを置いたり。
- ・広報やチラシ、回覧板を使って発信。
- ・町議の皆さんを仲間につける。
- ・反対した人に現状を見てもらう。

##### ●ワークショップの継続、活用

- ・今回のWSで集まった人のネットワークを大切にしたい。ここから広げる。
- ・このワークショップでやったことを伝える場も必要。

##### ●小さな活動を積み重ねていく

- ・もっと意見を聞いていくことも必要なので、サロンづくりをしていく。
- ・まずはここにいる人で、できることから少しずつ始める。小さな取り組み、楽しいことを共有しながら上手に発信。

##### ●拠点づくりについて

- ・多世代で使える、楽しめる拠点づくりを中心に考えていくといい。
- ・まず小さい拠点をつくり、そこでやれることを相談しながら広げていく。1度に多世代が集まれるようなものではなくて、小さいところを大事にしながらかつていけるものをつくる。
- ・住みやすくするために話し合える場が必要。いつでも相談できる人がいたり、フリーマーケットなどのイベントをすぐできる空きスペースがあるといい。
- ・いろんな預け方、出入りができるように。そのためには核になる施設が必要。
- ・人と人とのつながり、拠点となる場を与えていくことが大事だと思う。



### 3. 現場の声から

前述したアンケート（H25）、ワークショップ（H27）の結果を受けて、現場職員で施設の現状について話し合いました。

#### （1）職員から見た施設の現状

##### ①アンブレラ

###### 【現状の良い点】

- ◎スタッフが部屋にいる。
- ◎利用者同士の距離が近く、誰とでも話しができる。
- ◎絵本をゆっくり選べる。

###### 【現状の困っている点】

- ×子どもが遊ぶスペースが十分に確保できない。
- ×0歳と3歳児が共有するには狭い。
- ×授乳やオムツ換えなどきちんとした場所がなく、お部屋の中でならどこでも大丈夫とせざるをえない。

##### ②つくんこ教室

###### 【現状の良い点】

- ◎アンブレラが隣にある事で、相談がしやすい。
- ◎小学校の近くにある事で、通いやすい。連絡が取りやすい。
- ◎施設に囲まれているが、他の刺激が入りにくい環境である。遊具は少ないが、グラウンドがある為、開放的。

###### 【現状の困っている点】

- ×早期に定員いっぱいになり、通級を希望されても個別で指導する部屋が足りない。（指導員も増やせない）
- ×部屋がないため感覚統合遊具など、その都度片付けないと使用できない。いろいろ共有しているため、身体を動かしたり、全体が集まって活動する部屋が狭い。小学生や親の待つ部屋がなく廊下で待っている。プールは階段下で幼児には危ない。
- ×（施設が）奥に入っており、施設規模が小さく防犯的に心配なことがある。



## (2) 職員が考えた拠点施設に必要な機能

前述したワークショップ（H27）の成果を受け、平成27年度末、つくんこ教室とアンブレラの機能充実について、現場職員で話し合いました。

### ①アンブレラの機能

- ・つどいの広場スペース
- ・授乳・おむつ替えスペースなど

※共用機能をうまく活用したい



アンブレラ（現況）

### ②つくんこ教室の機能

- ・専用の玄関
- ・お迎えできる待合スペース  
（保護者、小学生など）
- ・個別指導ができる部屋（3）
- ・運動ができるスペース
- ・感覚統合のためのスペースなど

※屋外には、専用の水遊び場、屋外倉庫があると良い



つくんこ教室（現況）

### ③共用機能

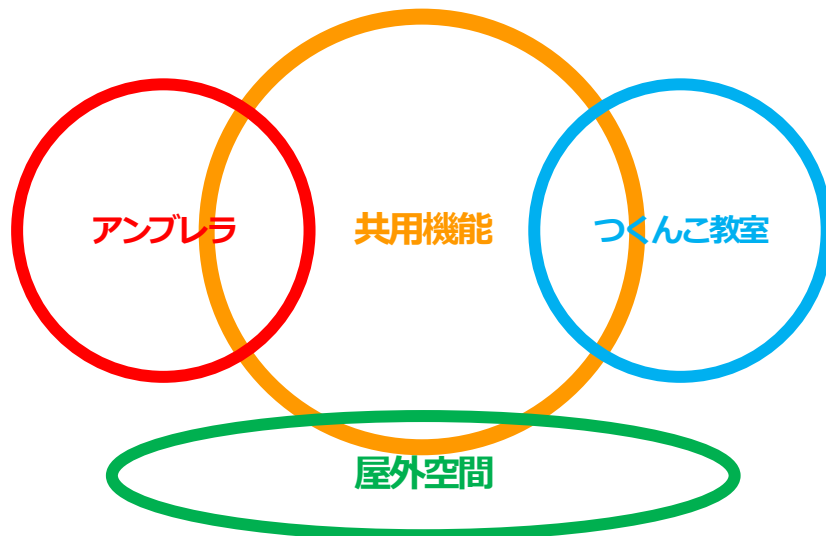
- ・メインエントランス
- ・飲食できるカフェスペース
- ・調理スペース
- ・0歳・幼児・小学生の遊び場
- ・多目的スペース（舞台付）
- ・絵本・図書・学習スペース
- ・相談スペース
- ・一時預かりスペース
- ・ボランティアが集まれる部屋
- ・職員室、教材・作業室
- ・トイレ、倉庫、機械室など

※屋外には、3歳未満が利用できる「中庭」的スペース（木陰、ベンチ、お弁当食べられる、小さな遊具など）と3歳以上が利用できる「広場」的スペース（砂場、幼少が利用できる遊具、屋根付きテラスなど）があると良い



コミュニティーセンター（現況）

【機能関連イメージ図】



### (3) 今後の子育て支援を見据えて

核家族化や近所づきあいの希薄化が進んでいる中、今後必要とされる支援について、現場職員で話し合いました。

#### ママたちを応援、支援する機能とスペース

##### 【こんなイメージ】

- ・多世代の交流やママたち趣味特技を活かし、地域仲間とつながれる (サークル活動、講座ハンドメイド作品の販売、カフェ等)
- ・息抜きやリフレッシュができる癒しの空間 (雑誌などの読書スペース等)
- ・一時預かりや親の病気、緊急時に対応できる。

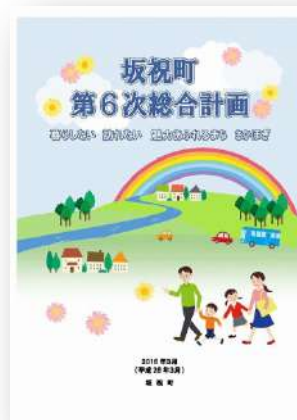


## 4. 上位計画や関連調査から

### (1) 坂祝町第6次総合計画

めざすべきまちの将来像として「暮らしたい 訪れたい  
魅力あふれるまち さかほぎ」を掲げ、基本目標2として  
「豊かな心が育つまちをめざして」います。

その中で達成したいすがたとして、「2 子どもが健やかに育つまち」を挙げ、そのために取り組むこととして  
「(3) 子どもを産み、育てやすい環境づくりや子育て支援に努めます」と謳っています。



さらに、そのための主な取り組みとして、以下のようなものを挙げています。

取り組み	内容	対応する事業
親同士の交流機 会の提供 【こども課・福祉課】	妊娠中から子育て期に親同士が交流できるよう、妊婦交流会や乳幼児相談の開催、「つどいの広場（アンプレラ）」などを中心にしたサークル活動の支援を行います。	◇妊娠期からの相談事業 ◇地域子育て支援拠点事業 ◇乳幼児相談・教室事業
★「子育て包括 支援センター」 の整備 【こども課・福祉課】	子どもを安心して預けられ、子育て相談や親子・多世代交流、学習指導等を行う「子育て包括支援センター」を整備します。 空き家やちびっこ広場等既存の施設を利用し、大学生や高齢者、ボランティア、教員OBなど地域の多様な人材と協力できる体制を整備し、運営します。	◇家庭訪問・情報提供 ◆総合戦略事業 (子育て包括支援センター)
発達の遅れの早期 発見 【福祉課・こども課】	各種相談事業や教室事業において、発達の遅れ等のある子どもを早期に発見し、必要な支援を行います。	◇健診から早期療育への連携 ◇療育相談事業
総合的な療育体 制の整備 【こども課・福祉課】	主に乳幼児期から就学時まで切れ目のない子どもの発達や子育て支援を行うために、「坂祝町発達支援地域療育システム <sup>33</sup> 」により、相談支援、訪問支援を充実させ、関係機関が連携した保護者へのフォローを行います。	◇地域療育支援事業 ◇家庭訪問・情報提供 ◇乳幼児相談・教室事業
子育てしやすい 環境及び拠点整 備 【こども課】	子育て環境についてのワークショップ等を実施し、住民参加のもとに意見や考え方の取りまとめを行います。 子育て拠点の整備について保護者を交えて議論・検討します。 コミュニティカフェ <sup>34</sup> 等、多世代交流の場を提供します。	◇子育て環境整備事業

## (2) 人口ビジョン及び総合戦略策定に向けたアンケート調査

人口ビジョン及び総合戦略の策定にあたり、「出産・結婚・子育て等に関する調査」「転出に関する調査」などのアンケート調査を実施しました。

- 調査期間 平成27年6月27日～7月20日
- 調査方法 郵送による配布回収
- 調査対象 下表参照

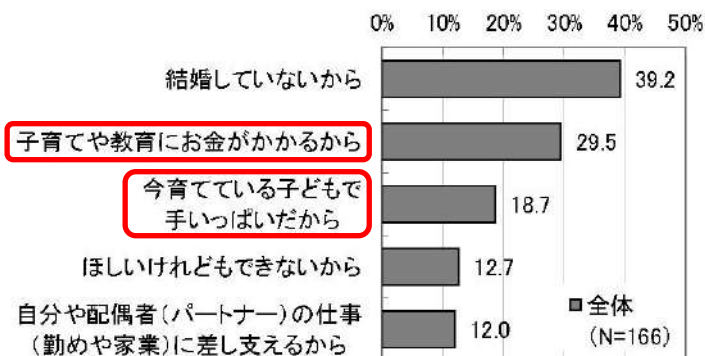
調査種類	対象者	抽出方法	配付・回収数
出産・結婚・子育て	町内在住15歳以上 40歳未満の住民 (1,000件)	無作為抽出	配付：996件 回収：270件 (回収率27.1%)
転出	過去5年間坂祝町から 町外への転出者 (1,000件)	無作為抽出	配付：854件 回収：189件 (回収率22.1%)

### ① 出産・結婚・子育て等に関する調査

Q：現在の子ども数が理想の数よりも少ない理由は？

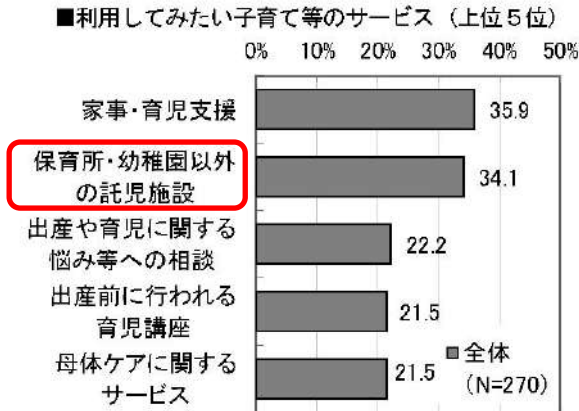
「結婚していないから」が最も高く、次いで「子育てや教育にお金がかかるから」「今育てている子どもで手いっぱいだから」となっています。「子育てにはお金や手間がかかるから」という理由で出産を躊躇するケースが多いことが分かります。

■子どもの数が理想より少ない理由（上位5位）



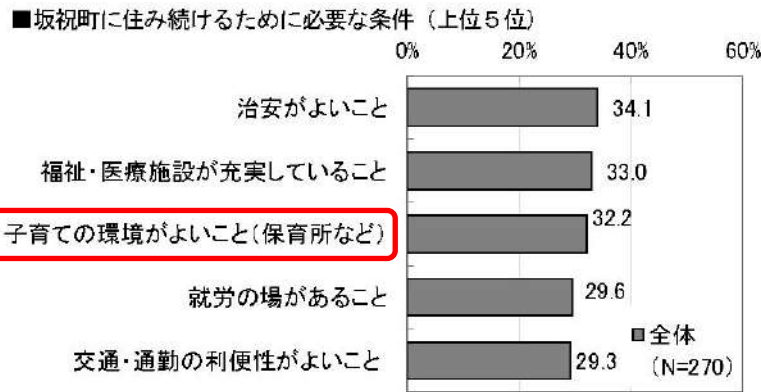
Q：利用してみたい、あればいいと思う子育て等サービスは？

第2位が「保育所・幼稚園以外の託児施設」となっています。



Q：坂祝町に住み続けるために必要な条件は？

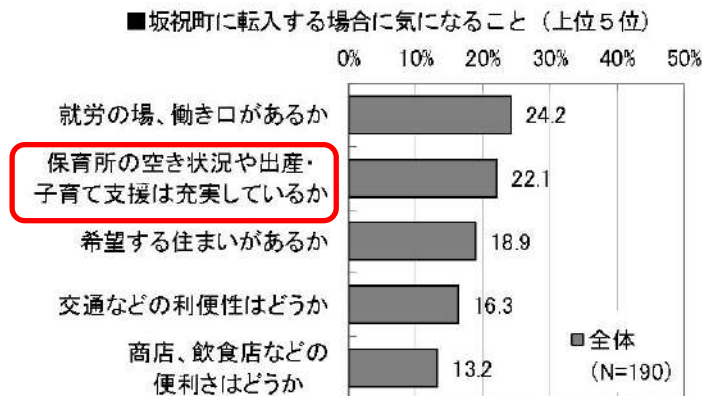
第3位が「子育ての環境がよいこと」となっています。



②転出に関する調査

Q：坂祝町に転入する場合に気になることは？

第2位が「保育所の空き状況や子育て支援は充実しているか」になっています。



### (3) 坂祝町総合戦略

坂祝町総合戦略は、坂祝町人口ビジョンで示された本町の人口の現状と将来展望を踏まえ、人口減少を克服し将来にわたって活力のあるまちを実現するための5年間の基本目標や具体的施策を示したものです。

#### 【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

本町では20～40歳代の男性が多くなっていますが、未婚率は高くなっています。若い世代が結婚・出産・子育てに希望が持てるよう、切れ目のない支援を行います。経済的な支援とともに、子育てしやすい環境を整えるための拠点づくりや高齢者やボランティアなど多様な活力を活かした施策を推進します

#### ◆施策2 子ども・子育て支援の充実

本町は男性に比べて20～30歳代の女性人口が少なくなっています。女性から選ばれるまちとなるため、また、子育て世代が移り住みたくなるまちとなるため、安心して子育てできる環境が求められます。既存の子育て支援事業を継続して実施するとともに、より安心して地域で子育てできるような施設や情報の整備、あらゆるニーズに応じられるような体制を整えます。

#### <取り組む事業と方向性>

##### ●「子育て包括支援センター」の整備

担当課：こども課・福祉課・教育課

子どもたちを安心して預けられ、子育て相談や親子・多世代交流、学習指導等も行う子育て包括支援センターを整備します。空き家やちびっこ広場等既存の施設を利用し、大学生や高齢者、ボランティア、教員OBなど地域の多様な人材と協力できる体制を整備し、運営します。

#### ■KPI (重要業績評価指標) の設定 (平成31年)

指標	現状	KPI (重要業績評価指標)
子育て包括支援センター利用者数	—	200人

**【基本目標4】時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する**

**◆施策1 交流拠点の形成**

地域の人間関係の希薄化は、コミュニティとしての機能低下や地域への愛着の薄れとなり、転出へも結びつきます。住民同士が気軽に交流できる機会を設け、子育てや介護の悩み相談や高齢者の生きがいづくりの場とするとともに、住民活動の主体的な発足の土壌をつくります。

**<取り組む事業と方向性>**

**●親子×高齢者交流の促進**

担当課：福祉課・こども課

高齢者が集まる機会と子育て世代が集まる機会を合わせ、高齢者と子どもや保護者の交流機会を創出します。高齢者が身につけてきた多彩な知識や専門的な技術、ノウハウを子どもや保護者に伝えていくことで視野や知識を広げるとともに、高齢者は自身の生きがいづくりや健康づくりへとつなげます。季節ごとの行事交流やレクリエーション、創作活動、食事会等を定期的に実施し、相互のつながりを深めます。

**■KPI (重要業績評価指標) の設定 (平成 31 年)**

指標	現状	KPI (重要業績評価指標)
高齢者と子育て世代交流の場利用者数	—	500 人



## 第2章 基本構想

前述した多様な取り組みや、上位計画・関連調査等の結果も踏まえつつ、後述するワークショップ「つどい場ツクリバ（平成28年度、全7回）」や民生委員さんを対象にした「お知恵をお貸してください会」等を開催し、「坂祝町子育て環境整備基本構想」について町民参画のもと、検討してきました。

### 1. 子育て支援ビジョン

坂祝町の子育て支援に対する基本的な考え方は、以下のキーワードに集約できます。

#### こどもたちに未来を

子どもは、次の時代を担うかけがえのない宝物であり、まちの未来をつくる貴重な存在です。

親・子・孫の代まで、**坂祝町に住み子育てし続けたいと思える“まち”**を目指して、**子育て支援・子どもの健全育成を重点施策**と位置づけます。

そして、**未来への投資**と考え「**子育て支援拠点施設の建設**」を推進します。





### 【ねらい・波及効果】

①岐阜市や名古屋圏にも通勤可能な本町の強みを生かし子育て世代に選ばれる町に!

⇒若い世代の人口増加

②年代、男女を問わず、子育て支援に関わり、ますます元気に!

⇒健康づくり・介護予防

⇒町民主役のまちづくり

## 2. 現状と課題の整理

これまでに実施したアンケート・ワークショップ・現場の声等を通して見えてきた坂祝町の子育て支援についての課題は以下の通りです。

### (1) サービスの分散

「コミュニティセンター」ではつくんこ教室・アンブレラ、「サンライフさかほぎ」では各種サロン、「中央公民館」では乳幼児家庭教育学級、「保健センター」では相談事業等というように、子育て支援サービスの提供が分散して行われています。

そのため、就学前の子どもと幼稚園や保育所、小学校の子どもが一緒に行ける場所がありません。

### (2) 安心して遊べる公園がない

子ども遊園地はありますが、ベンチや日影がなく遊びたいと思えないようです。

これまでに実施したアンケートやワークショップにおいても「町内に、親子連れで安心して遊べる公園がほしい」という町民の声が非常に多く寄せられています。

### (3) つくんこ教室・アンブレラの不便さ

現在はコミュニティセンターでつくんこ教室を行っています。場所が狭く設備も不十分です。アンブレラも、同センターの一部を改修し事業を実施していますが、利用者が多い時には居場所がなく、帰られてしまうような場合もあります。

### 3. 拠点施設の基本理念

今年度のワークショップ「つどい場ツクリバ」から提案された子育て支援拠点施設の「基本理念（コンセプト）」は、以下の通りです。

(1)  
子どもを中心に  
多世代交流が  
図られる拠点

(2)  
自然を生かした  
自然が感じられる  
拠点

(3)  
だれもが気軽に  
集える、相談で  
きる拠点



#### (1) 子どもを中心に多世代交流が図られる拠点

前述の「課題（1）サービスの分散」に対し、ワンストップサービスができる拠点とすることで子育て世代の利便性向上を図ります。

また、異年齢のきょうだいを連れて、いっしょの施設で過ごすことができます。

### (2) 自然を生かした、自然が感じられる拠点

前述の「課題（2）安心して遊べる公園がない」に対し、自然を生かした、自然が感じられる拠点とすることで、日影のベンチや水場なども整備し、広場や遊具を利用して安全に遊ばせることができます。

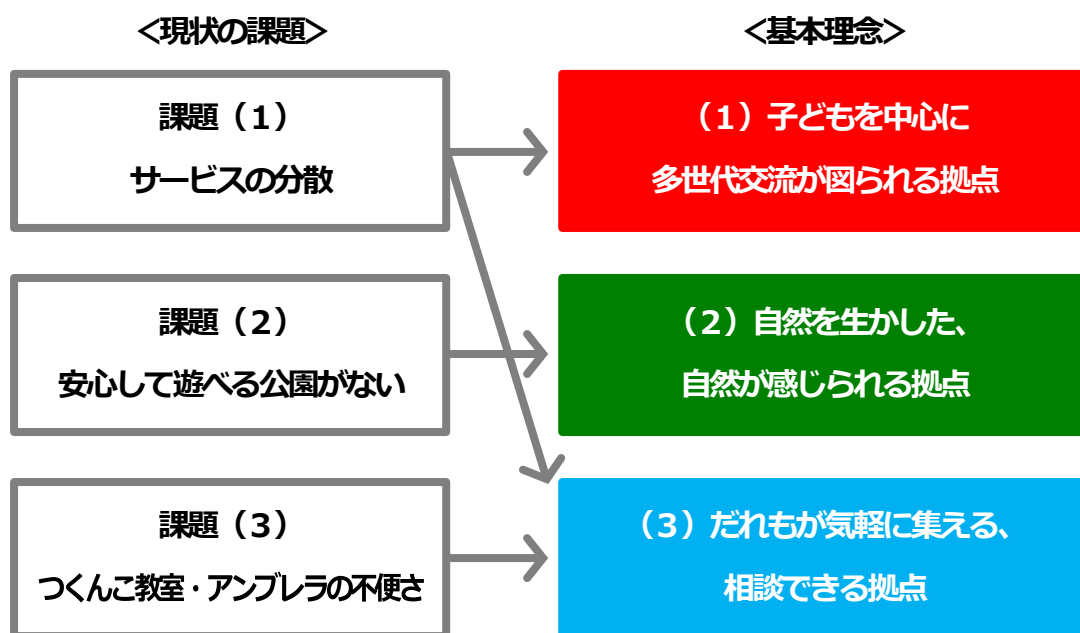
### (3) だれもが気軽に集える、相談できる拠点

前述の「課題（3）つくんこ教室・アンブレラの不便さ」に対し、つくんこ教室は、療育機関として必要な機能を可能な範囲で盛り込み、充実を図ります。

アンブレラは子育て中の母親を支援するとともに、安心して気軽に過ごせる場所にします。また、女性の社会参加へのステップアップや子育てボランティアの育成も行います。

このように、職員・スタッフや住民が一丸となって連携・協力し合うことで子育て支援の相乗効果が見込め、「課題（1）サービスの分散」の解決にもつながります。

【課題解決と基本理念の対応関係】



## 4. 拠点施設の必要機能

今年度のワークショップ「つどい場ツクリバ」から提案された子育て支援拠点施設の「必要機能」は、以下の通りです。ワークショップでは、総花的にならないように機能を抽出・整理しながら、「優先順位」をつけました。

### I. 絶対必要な機能（短期・拠点の核に）

<b>つくご教室</b> <small>（行政として拡充・実施すべき事業）</small>	<b>交流機能</b> <small>（つなぐ機能）</small>	<b>アンブレラ</b> <small>（行政として拡充・実施すべき事業）</small>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●つくご教室（調理室含む）</li> <li>●相談室</li> <li>●事務室 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フリースペース</li> <li>●カフェ（飲食スペース）</li> <li>●屋内運動室・ホール</li> <li>●外遊び・屋外広場 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンブレラ</li> <li>●キッズトイレ</li> <li>●授乳・おむつ交換</li> <li>●託児スペース（ボランティア）</li> <li>●事務室 など</li> </ul>

### II. あったらしいな機能（中期・隣接して）

●図書スペース	●ギャラリー	●中高生スペース	●学習室
●ボランティアルーム	●公園・自然など		

## 5. 施設計画における留意点

今年度のワークショップ「つどい場ツクリバ」から提案された子育て支援拠点施設の「施設計画上の留意点」は、以下の通りです。ワークショップでは、架空の敷地におけるデザインゲームを実施し、施設の配置や機能のつながりなどを検討しました。

### (1) 配置計画

施設の配置レイアウトについては、以下のような提案がありました。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ①道路と建物間に「駐車・駐輪場」を | ②建物は「2階建て」程度まで    |
| ③陽の当たる南側に「屋外ひろば」を | ④南側2階に「ベランダやデッキ」を |
| ⑤広場には「一部屋根付スペース」を | ⑥中庭等で「幼児の安全な遊び場」も |

## (2) 平面計画

施設の間取りや、各機能のつながりなどの平面計画については、以下のような提案がありました。

### ① エントランス

- ・ 玄関を入ると明るくて広い共用ロビー
- ・ ロビー～カフェ～屋外ひろばの連続空間
- ・ 事務所は、玄関の近くに（来館管理）
- ・ どこに何があるかわかりやすい収納庫を設置



### ② カフェ

- ・ 1階に設置。集い・交流機能の要（かなめ）であり、気軽に立ち寄れること
- ・ 屋外に面し、オープンテラス等も



### ③ 交流機能

- ・ フリースペース（共用ロビー）機能を。丸いテーブルがたくさん並んでいて、ゆったりくつろぐことができる
- ・ 小中高生の居場所や多世代交流系の機能を設置。1階に確保できない場合は、2階でも可
- ・ 例えば、「研修室」「学習室」「図書スペース」「音楽スタジオ」「ダンススタジオ」「和室」など



### ④ 屋内運動場

- ・ 広場やベランダなど屋外空間に面する
- ・ 小学生の遊びや運動、ボール遊びができる天井高の確保
- ・ 発表等にも使えるステージ等も設置できたら



### ⑤アンブレラ

- ・アンブレラは1階。広すぎないのも大事
- ・共用部からアクセスでき、屋外ひろばに面する
- ・そばには授乳・おむつ替え。乳幼児WC等
- ・ほっこり（静）、アクティブ（動）、絵本、おもちゃ等の各コーナー。明るい窓も



### ⑥つくんこ教室

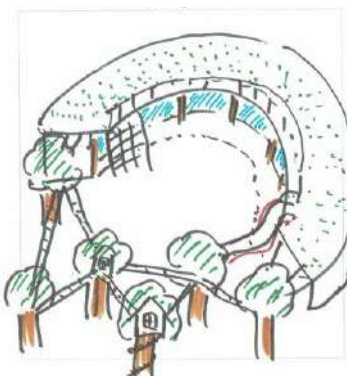
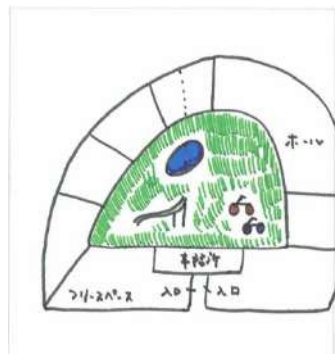
- ・つくんこ教室の位置は、一般利用と分けられる位置に（例えば1階の端部もしくは2階など）
- ・つくんこ教室には、専用玄関を
- ・療育スペース、相談室、調理スペースなど必要機能の充実
- ・プール等専用で安全な外遊びスペース
- ・アンブレラとのつながりも



## (3) 外観及び建物イメージ

施設の外観及び建物イメージについては、以下のような提案がありました。

- ①円形、弓型など「やわらかいカタチ」
- ②建物と緑や自然が調和した設計に
- ③中庭や囲まれた広場などの「内なる屋外空間」もうまく取り込んで



ワークショップ参加者の描いた絵

### 第3章 施設計画の検討

これまでに検討してきた「坂祝町子育て環境整備基本構想（案）」を踏まえ、実際の拠点施設の施設計画について検証しました。

#### 1. 建設地

拠点施設にふさわしい「建設場所」について、「中央公民館周辺（A案）」と現在の「コミュニティーセンター周辺（B案）」の2か所を想定し、比較検討を行ないました。

A案 中央公民館周辺	比較指標	B案 コミュニティーセンター周辺
○ (合致している)	ビジョンや基本理念と合致しているか？	△ (十分整合しているとは言えない)
○ (課題(1)(2)(3)に対応している)	課題解決につながるか？	× (課題(1)(2)には十分対応できていない)
○ (福祉・教育エリア：サンライフさかほぎ、中央公民館など周辺施設との連携や相互利用が可能) (バイパスや町全域からアクセスしやすい)	施策エリアと適合しているか？	△ (駅や役場等主要機関は集積しているが福祉・教育エリアではない)
× (小学校から離れている)	小学校との近接性は？	○ (小学校に隣接している)
○ (十分確保できる、駐車場の共用が可能)	駐車場の確保は？	△ (十分確保することは難しい)
○ (周囲に自然が多く、環境が良い)	環境が子育てにふさわしいか？	△ (交通量の多い国道や水路に囲まれ狭小である)
○ (公園や緑地など段階的な整備も可能)	拡張性・発展性は？	× (敷地が狭く、敷地の形が不整形。将来的な拡がりは望めない)
× (B案よりも費用・期間がかかる)	建設費・期間などの事業性は？	○ (A案よりも狭い分建設費は抑えられる)



#### 評価結果

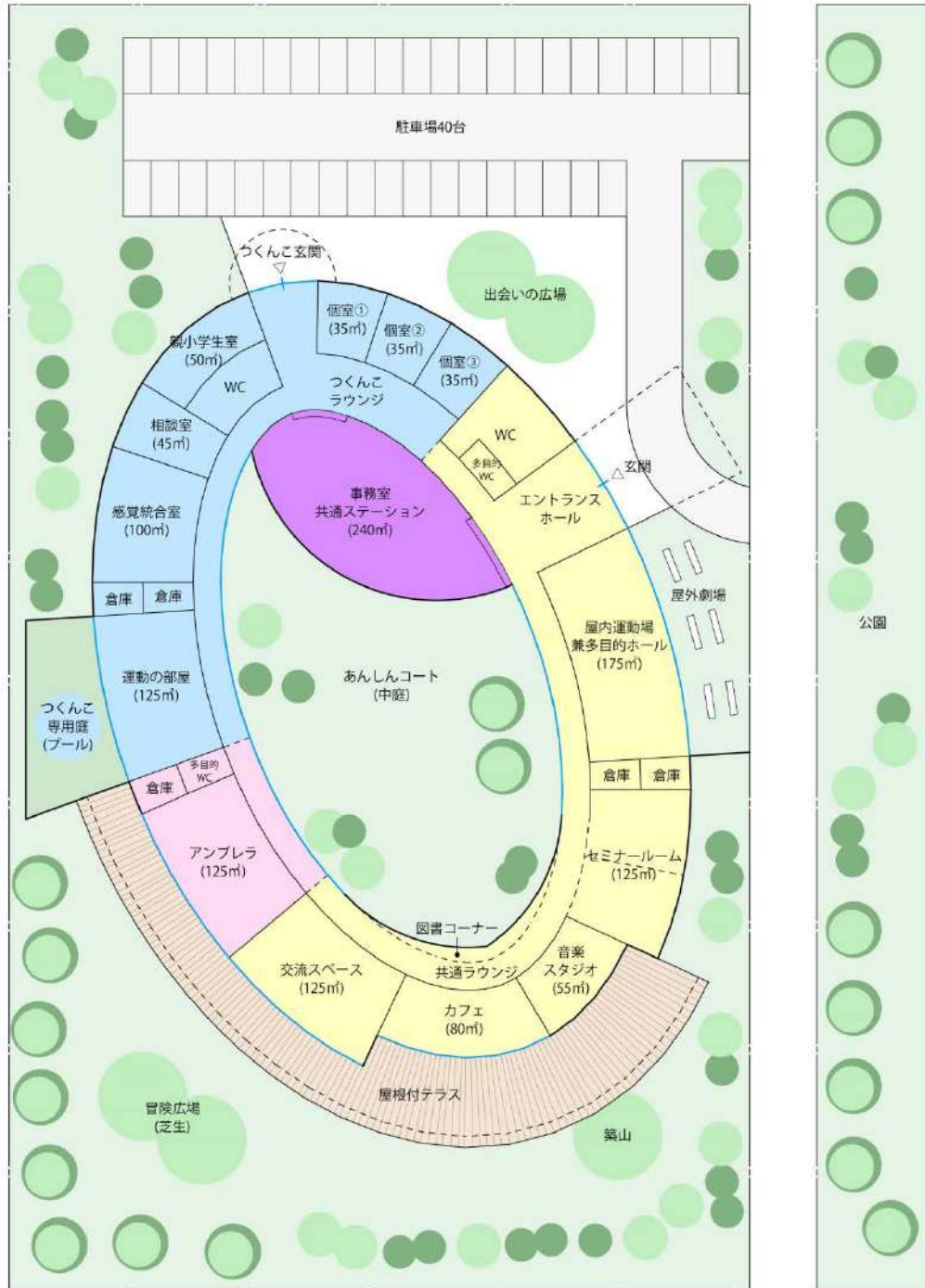
**「A案：中央公民館周辺」が望ましい**

- \*キッズドリームワールド（放課後子どもクラブ〈学童保育〉）は、現状機能を維持し学校から子どもが直接移動して活動する施設とします。
- \*子ども教室は、小学校図工室での活動を主とし、夏休みは活動しません。（ただし、拠点が整備され小学生の居場所ができれば、社会教育等と連携しイベント的な子ども教室を夏休みに開催することが可能となります。）

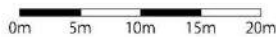
## 2. 施設計画イメージ

### SAKAHOGI たまごステーション

#### (1) A案 平面計画イメージ



延床面積  
2083.29㎡



※ワークショップでの提案を中央公民館周辺の敷地でまとめたイメージ案です。町の正式な計画ではありません。



(2) B案 平面計画イメージ

Children's ベース SAKAHOGI



※ワークショップでの提案をコミュニティセンター周辺の敷地に置き換えたイメージ案です。  
 町の正式な計画ではありません。

## 第4章 ワークショップでは

前述した基本構想（案）や施設計画イメージ（案）をとりまとめるために、町民参画プロセスとして、民生委員さんを対象にした「お知恵をお貸してください会」や公募町民と職員が協働する「つどい場ツクリバ（全7回）」等のワークショップを開催してきました。本章では、これらのプロセス（過程）の様子をダイジェストで紹介します。

### 1. 坂祝町子育て支援拠点について「お知恵をお貸してください会」

平成28年8月25日（木）の午後、中央公民館にて、民生委員さん15名にご参加いただき、坂祝町の子育て支援拠点についてご意見をいただく会「坂祝町子育て支援拠点についてお知恵をお貸してください会」を開催しました。

#### グループ会議「子育て支援拠点について」～発表



子育て支援拠点に期待するもの



- つくんこ教室の充実
- 走り回れる広い部屋
- 図書スペース
- 親子で遊べるスペース
- カフェスペース
- 工作できる部屋
- ボランティア室 ●キッチン
- トイレは広く、たくさん

- 公園
- 遊具がたくさん
- 自然豊か
- 自然の遊びをしたい
- キャンプ
- 家族でバーベキュー
- 小さいプール
- ボルダリング

- 安心して遊べる
- 気軽に行ける
- 気軽に相談できる
- 多世代で集まれる
- お母さんどうしが交流
- 交通アクセスが良い

- ワンストップ窓口
- おもちゃ図書館
- 中高生が集える場
- 働く人の充実
- 困ったときに預ける場所
- 明るくワクワクする部屋
- 一部屋一部屋が広くゆったり



## 2. 坂祝町子育て支援環境整備ワークショップ「つどい場ツクリバ」

(1) ツクリバ① 平成 28 年 7 月 19 日 (火) 19:00~21:00 中央公民館

(2) ツクリバ② 平成 28 年 8 月 2 日 (火) 12:45~17:30 事例視察へ

### 1 坂祝町の子育て環境。ココが強み、ココが弱み



#### ○ いいところ

保健師さんが親切／アンブレラがある／子育てについて相談しやすい／キッズランドいつでも使える／つくご教室がある／幼保が充実している／幼稚園が自然の近くにある／小中一貫教育／とまと託児所、病後児保育／ファミサポがある／自然が豊か／適度に田舎なので暮らしやすい／つながりの中で育つ／コンパクトで人の顔がわかる町／オープンに話し合える雰囲気／子どもたちへの声掛けが多い／各施設間がわりに近い／町民プールがある／おもちゃ図書館がある／兄弟の多い家庭が多い など

#### ✕ わるいところ

行きたいと思える公園がない／近くに安心して遊ばせるところがない／ちびっこ広場がない／小さな子どもの遊べる場がない／広い遊び場がない(室内)／小学生の遊び場がない／児童館がない／中・高校生が集える場／多機能施設(多世代が集える場)がない／ふらっと寄れる場所が欲しい／年齢の異なる子どもと一緒に集う場所がない／困ったときに気軽に相談できる人・場所が少ない／アンブレラが狭い／つくご教室が狭い／横のつながりが薄い／多世代交流が少ない／飲み食いできる所がない など

### 2 先進事例の視察に出かけよう！



小牧市味岡児童館「ばるもあじおか」



北名古屋市児童センター「きらり」

- フリースペース、空間の間取りなど、全体のレイアウトが良かった。
- 限られたスペースを利用し、ゆったりとしたリラックスして毎日来なくなる、生活の一部のような施設、素晴らしかった。
- 手作り感がいっぱい、子どもや利用者のニーズがしっかり反映されてあたたかく落ち着いた感じがした。
- 未満児から大人まで気軽に利用でき、集いたくなる場所が坂祝町にも必要だと思った。
- 「子育て支援」という目的やその運営に対する考え方がブレないところに魅力を感じた。スタッフの重要性を感じた。
- 設置目的や運営理念等を明確に持つことが大切。多機能を持たせた施設か、特化した機能施設かよく検討する必要がある。

(3) ツクリバ③ 平成28年8月25日(木) 19:00~21:00 中央公民館

**3** 拠点施設で大切にしたいことは?~キーワードベスト3

**A** 拠点施設で大切にしたい 3つのキーワード

- ★ 15才(中学生)までの子どもが使える施設
- ★ 多世代・多文化の交流がある場
- ★ 目的がなくとも気軽に行ける場

ウラ あるものを見直し 最大限にいかす

**B** 拠点施設で大切にしたい 3つのキーワード

- ★ 子育てを中心とした 多世代交流
- ★ 相談できる場所

ウラ 坂祝色  
～さがほししく～

**C** 拠点施設で大切にしたい 3つのキーワード

- ★ 家庭がある!! 家族がある!!
- ★ 自然が肌で感じられる
- ★ 共につながり、成長する!!

ウラ ♡ スク47 60代・70代・80代...  
大かみがい!!  
♡ 本を読む習慣がある子が育つ!!

**D** 拠点施設で大切にしたい 3つのキーワード

- ★ 未満児から高校生までが中心の場 (0才～18才)
- ★ 自然(動物・虫・緑・水)を生かす
- ★ 気軽に集える場所、あたたかみのある場所

ウラ ④ お金ありき 中途半端はセオリー  
⑤ だれもが気軽に集える場所  
お金の力、お金の力、お金の力、お金の力、etc...

↓  
拠点施設のコンセプト(基本理念・基本方針)は?

<コンセプト>

- 1.子どもを中心に多世代交流が図れる拠点
- 2.自然を生かした、自然が感じられる拠点
- 3.だれもが気軽に集える、相談できる拠点

<サブテーマ>

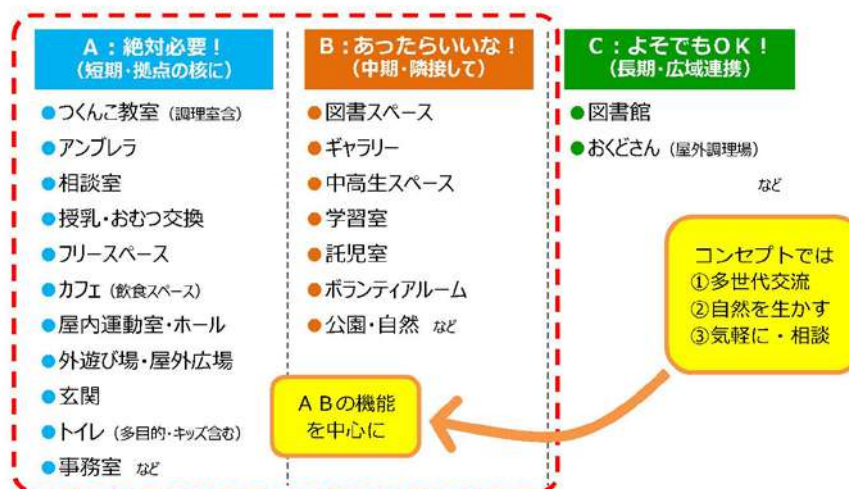
- ・坂祝色=坂祝町ならではの特色、オリジナリティを
- ・費用対効果=あるものを最大限に活かす、何でもありではなく機能を精査
- ・共に成長する、使い続けられる施設に

(4) ツクリバ④ 平成28年9月15日(木) 19:00~21:00 中央公民館

**4** どんな機能があればいいかな? (必要機能を洗い出し、優先順位付け)

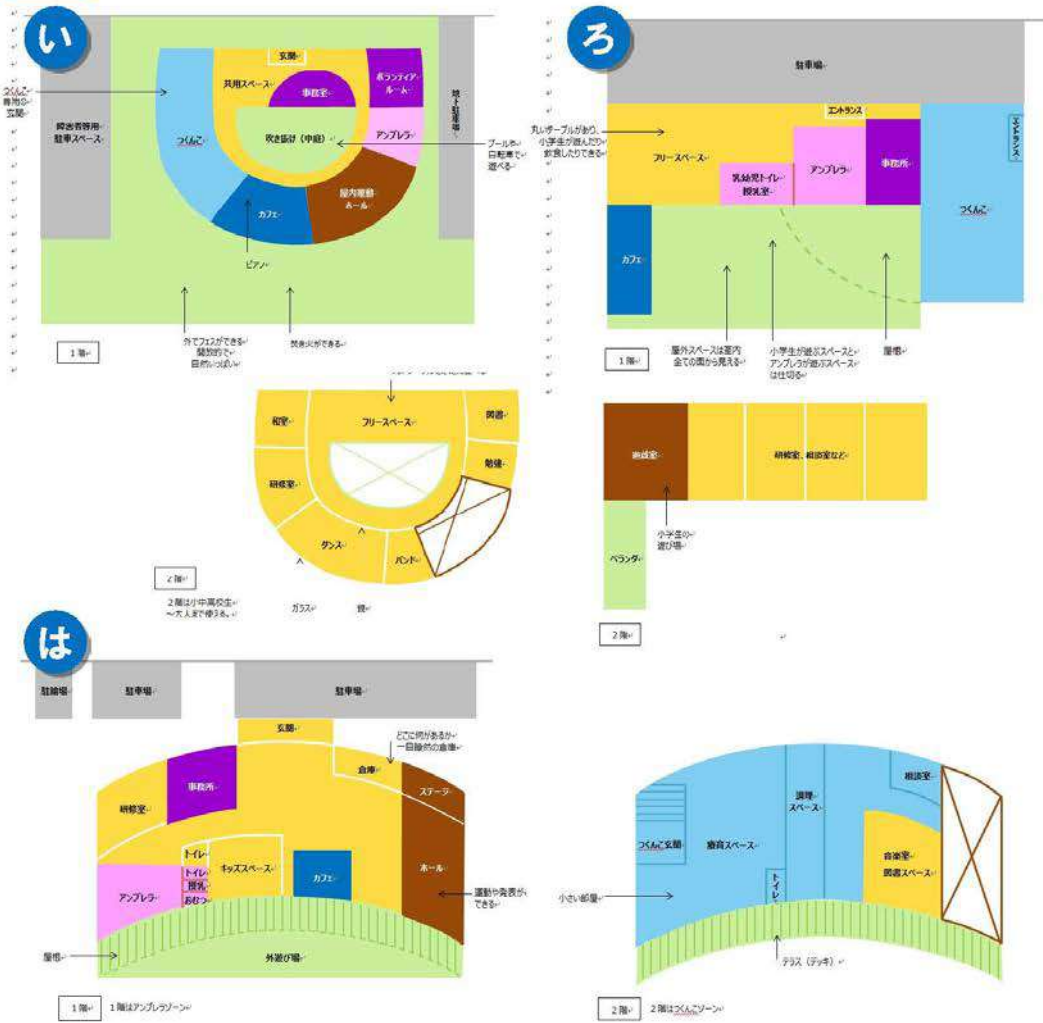
	Aグループ	Bグループ	Cグループ
つくご教室	A	A	A
相談室	A	A	A
調理スペース		A (つくご内)	A (つくご内)
アンブレラ	A	A	A
授乳・おむつ交換	A	A	C
託児室	B		B
キッズトイレ	A	A	A
運動室・ホール	A	A	A
フリースペース	C		A
カフェ (飲食スペース)	A	A	A・B・C
図書室	C	B	B
学習室			C
中高生スペース		B	
ボランティアスペース	B	C	
ギャラリー	B		
外遊び場・自然	A		B
屋根付き広場		B	A (屋根付きロータリー)
屋外調理設備		C	C
事務室	A	A	

↓  
必要機能の「優先順位」は?



(5) ツクリバ⑤ 平成 28 年 9 月 29 日 (木) 19:00~21:00 中央公民館

**5** カタチにしよう！デザインゲーム





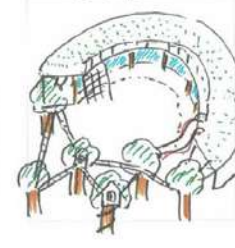



↓  
全体の配置計画は？

- <配置レイアウト>**
- ①道路と建物の間に「駐車・駐輪場」を
  - ②建物は「2階建て」程度
  - ③陽の当たる南側に「屋外ひろば」を
  - ④南側2階には「ベランダやデッキ」を
  - ⑤ひろばには、「一部屋根付スペース」を
  - ⑥中庭や区画等で「幼児の安全な遊び場」も

間取り・平面計画は？

<p><b>&lt;エントランス&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 玄関を入ると明るくて広い共用ロビー</li> <li>② ロビー～カフェ～屋外ひろばの連続空間</li> <li>③ 事務所は、玄関の近くに（来館管理）</li> <li>④ どこに何があるかわかりやすい収納庫</li> </ul> <p><b>&lt;カフェ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 1階に設置。集い・交流機能の要（かなめ）であり、気軽に立ち寄れること</li> <li>② 屋外に面し、オープンテラス等も</li> </ul> <p><b>&lt;2階交流機能&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 小中高生の居場所や多世代交流系の機能は2階に設置。</li> <li>② 例えば、「研修室」「学習室」「図書スペース」「音楽スタジオ」「ダンススタジオ」「和室」など。</li> <li>③ 2階にもフリースペース（共用ロビー）機能を。丸いテーブルがたくさん並んでいて、まったりくつろぐことができる</li> </ul>	<p><b>&lt;屋内運動場&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ひろばやベランダなど屋外空間に面する</li> <li>② 小学生の遊びや運動、ボール遊びができる天井高の確保</li> <li>③ 発表等にも使えるステージ等も設置</li> </ul> <p><b>&lt;アンブレラ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① アンブレラは1階。広すぎないのも大事</li> <li>② 共用部からアクセス、屋外ひろばに面する</li> <li>③ そばには授乳・おむつ替え。乳幼児WC等</li> <li>④ ほっこり（静）、アクティブ（動）、絵本、おもちゃ等の各コーナー。明るい窓も</li> </ul> <p><b>&lt;つくんこ教室&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① つくんこ教室の位置は、1階の端部もしくは2階（一般利用と分けられる位置）</li> <li>② つくんこ教室には、専用玄関</li> <li>③ 療育スペース、相談室、調理スペースなど必要機能の充実</li> <li>④ プール等専用で安全な外遊びスペース</li> <li>⑤ アンブレラとのつながりも</li> </ul>
--	---

外観や建物のイメージは？

<p>「ようこそ！おはき見せ館へ」</p> 	<p>「中庭をのぞく」</p> 	<p>「冒険島」</p> 	<p>「自然といっしょ！」</p> 
<p>「広がり」</p>  <p>療育スペース フリースペース</p> <p>・1階は円形 ・1階2階共用211F ・2階専用210-2</p>	<p>① 円形、弓型など「やわらかいカタチ」</p> <p>② 建物と緑や自然が調和した設計に</p> <p>③ 中庭や囲まれた広場などの「内なる屋外空間」もうまく取り込んで</p>	<p>「自然といっしょ！」</p> 	

(6) ツクリバ⑥ 平成28年10月27日(木) 19:00~21:00 中央公民館

**6** ツクリバから見てきたもの～言い足りなかったこと・提案しておきたいこと

◆ **つくんこ+アンブレラを核とした  
子育て支援施設に**

- ・つくんこ教室を充実させたい。つくんこを中心にすべき。つくんここそが「坂祝色」。
- ・つくんこを核に子育て支援の充実につなげていきたい。



◆ **子どもを中心にした多世代交流施設に**

- ・地域みんなで子どもを育てていけるような町に！
- ・子どもを中心に多世代交流ができる場所にしたい。
- ・多世代交流を大切にしたいので、共有スペース（フリースペース）が大事になる。
- ・未満児から小学生まで遊べる（兄弟を一緒に見れる）。
- ・子どもが成長しても来られる、中高生も利用できる。
- ・つくんこアンブレラが核になり外に輪が広がっていくイメージ。

◆ **各機能のレイアウトについて**

- ・1階はフリーで、うるさく騒げる場所があって、2階は目的があって学べる場所に。
- ・全天候型のフリースペースが欲しい。
- ・つくんこ教室は、一般利用者と共用（時間で区切ったり、場所を共有したり）は、難しい。みんながわーっと来るフリースペースからは独立した落ち着いた場所に設置。
- ・アンブレラとつくんこはあまり離れない方がいい。

◆ **今ある施設等を活用・充実しては？**

- ・コミュニティセンターや公園など、現在あるものを充実させていったらどうか？
- あるものを広げてだけでなく、今ないものをつくることも重要。例えば、思い切り動けて安全な公園があるといい。
- ・アンブレラは今の場所でおこなって、新しい場所を小中学生も利用できる児童館としたら？
- アンブレラも今後は多世代交流も盛り込み、もっと広がりを持ってやっていきたい。



◆ **「ツクリバ」からの提案で良いのか？**

- ・去年のワークショップでは、みんなわりと児童館をイメージしていた。それが今年の4回目でも急に「つくんこアンブレラを中心に」という路線に変わってきたように思う
- ・このメンバーだけの意見でいいのだろうか？
- 0歳から小・中学生のお母さんが参加している。人数は少ないものの、これまでにいろんな意見が集約された話し合いが積み上がってきている気がする。ワークショップからの提案として出していくことは価値がある。
- ・昼間の会議や、「移動ツクリバ」があっても良かったね。
- ・ツクリバでまとまってきたものが、本当にできれば幸せ

◆ **夢だけで終わらせないために・・・**

- ・夢だけで終わってしまうんじゃないか？という危惧も・・・
- ・お金（予算）などの制約が出てこないから、夢や希望が膨らんだ。その分、いざできあがった時、絶望感が凄くなりそう。そろそろ目標の時期、お金を決めていかないと。
- 最初の年は各課を超えたプロジェクトチームをつくったが、去年、基本計画の予算が否決され、もう一度慎重に調査研究して基本構想を考えている段階。ワークショップの結果は全職員に流しているし、課長会議や三役にも話をしたり、民生委員さんや教育委員さんから意見をもらったりと・・・構想をまとめるための努力をしています。

◆ **子育てしやすい、住みたくなるまちに！**

- ・0～3歳児のお母さんが用がなくてもふらっと行けるように。友達ができれば、坂祝に住み続けてくれるのでは？
- ・今、自分は子育てが大変。ここを核として今後坂祝町を「子育てしやすいまち」にしたい。そうすれば人も増えるし、未来（さき）のある坂祝町が見える気がする！





(7) ツクリバ⑦ 平成29年2月16日(木) 19:00~21:00 中央公民館

**7 構想(案)の確認&今後に向けて**

**共有「確認しよう!基本構想(案)」**

**●子育て支援ビジョンについて**

坂祝町の子育て支援に対する考え方の基本は、「こどもたちに未来を」です。



親・子・孫の代まで、坂祝町に住み、子育てし続けたいと思える「まち」を目指して、子育て支援・子どもの健全育成を重点施策と位置づけます。また未来への投資と考え「子育て支援拠点施設の建設」を推進します。

**●建設地について(こども課より)**

建設場所は「中央公民館周辺(A案)」と「コミュニティーセンター周辺(B案)」の2か所を想定して比較検討したところ、ビジョンや基本理念と合っているか、子育て環境にふさわしいか、拡張性はあるかなど、多くの点でA案がよりふさわしい一方で、小学校との近接性、建設費や期間の点で課題があります。行政としては、財政状況を踏まえ、行政経営に影響がない範囲で建設可能と考え、A案を進めたいと議会で説明中です。



A案:中央公民館周辺



B案:コミュニティーセンター周辺

**全体トーク「ここがイーネ!&こうしたら!~今後に向けて」**

**基本構想はすばらしい!**

- 基本構想は、これまでのWSで出た意見も網羅され、現場のニーズにも合った素晴らしいものだと思います。

**多世代が利用できる施設に**

- A案は、一般の人が使える機能をもっと具体的にした方が幅広い人達からの支持が得られると思います。
- 図書、ギャラリー、学習室などの「あったらいいな」機能を今後入れていける拡張性も考慮して考えられるといい。
- 自分は子育て卒業だと思っていたが、娘がいるので、おじいちゃんと孫で楽しめるようなものになったらいいな。

**広がりのある敷地(A案)がいい!**

- A案がとても素敵で、WSでやってきたみんなの「想い」が「かたち」になっているようですごくうれしかった。
- A案の予算が高く、町の財政的に不安だと思ったが、どうせつくるのならいいものをつくった方が坂祝町の魅力になるし、坂祝町としてPRできます。
- 多世代交流、自然を活かした施設という意味でも、広い場所がいい。坂祝ならではの場所がいいと思います。
- 「巻きコミュニケーション」の話聞き、ソフト面がすごく重要だと感じた。子育て世代のお母さんたちと地域で頑張っている人たちとつながりたい。場所があれば、あればあるだけ私の妄想が現実に近づく気がします。

**その他**

- A案は理想的だが、B案もコンパクトで使いやすいというメリットがある。両方のいいところをできたらいい。
- A案は、小学校から離れるのが一番のネック。町民バスをうまく利用できるようにするといい。 など

**「巻きコミュニケーションのすすめ」**

ファシリテーター加藤より

みんなに使われるかどうかは建物の力だけじゃありません。どんな人がいて、どんなサービスが提供できるのか…ソフトが弱ければ、立派な建物もただの「ハコモノ」。

大事なものは、人を巻き込むこと。そのためのコツを2つ紹介します。1つは「インサイドアウト」。人のせいにするのではなく、自分のやれることを一生懸命やることで何かが変わる。

もう1つはトムソーヤの「ご機嫌なペンキ塗り」。罰として、堀にペンキを塗るよう言いつけられたトムが、楽しそうにペンキを塗ることで、友達が次々にやってきて大喜びでペンキを塗り…全部塗れました。正しいからでは人の気持ちは動かない。相手にとってもオトクな訴求効果があることが重要です。

みなさんの役割は、もっと他の人を巻き込んでいく事かなと思います。「他人事」じゃなく「自分事」の人を増やすことで、坂祝町の「未来」を変えられるかもしれません!



### 3. 「つどい場ツクリバ」参加者名簿

#### 平成28年度 子育て環境整備ワークショップ「つどい場ツクリバ」名簿

##### ワークショップメンバー

1	阿部 仁美	7	志村 有希子	13	三品 陽平
2	岡崎 諦裕	8	深田 佳子	14	森田 敬士郎
3	小田部 正一	9	三上 知津子	15	森田 悠子
4	河村 利道	10	三品 ひとみ	16	上杉 陽介
5	瀨瀬 由華	11	三品 愛美	17	尾関 正仁
6	小寺 忠	12	三品 幸信	18	野村 浩貴

##### 事務局(ワークショップにも参加)

1	高橋 正郎	教育長
2	伊藤 マリ子	こども課長
3	石原 真奈美	こども課
4	兼松 邦彰	こども課
5	加藤 彰延	こども課
6	近藤 理菜	こども課
7	伊藤 留奈	こども課
8	竹内 友紀子	こども課
9	三品 美和子	こども課

##### 託児サポート

1	瀨瀬 富士子	ファミサポ会員
2	田口 正美	ファミサポ会員
3	三品 直美	ファミサポ会員
4	渡辺 由紀	こども課
5	武市 智美	こども課
6	林 裕之	こども課
7	河村 有美	こども課
8	林 峰子	こども課
9	日比野 綾子	こども課



## 坂祝町子育て環境整備基本構想

発 行 / 坂祝町  
編 集 / 坂祝町教育委員会 こども課  
発行年月日 / 平成 29 年 3 月

〒505-0071 岐阜県加茂郡坂祝町黒岩 1260 番地 1

T E L : 0574-26-7151

F A X : 0574-26-7097

メー ル : [kodomo@town.sakahogi.gifu.jp](mailto:kodomo@town.sakahogi.gifu.jp)

